

香港への農林水産物・食品の輸出  
に関するカントリーレポート  
(鶏卵)

2025年12月

香港輸出支援プラットフォーム

## 目次

1. 鶏卵の基本情報とその背景
2. 輸入状況と近年の動向
3. 液卵に関して
4. 鶏卵の賞味期限
5. 注目すべき動向
6. 流通経路
7. 規制とルール
8. 参照

## ◆1. 香港市場における鶏卵の基本情報とその背景◆

2024年に日本から海外へ輸出された鶏卵のうち、輸出額全体（71.1億円）の94.2%にあたる約67億円は香港向けに輸出されている。香港は、日本産殻付き鶏卵最大の輸出先である。（出所：農林水産省「2024年農林水産物・食品の輸出実績<品目別>」<sup>1)</sup>）。

香港における2024年の鶏卵を含む家きん卵全体の輸入額は23億9,800万香港ドル、同年全体の輸入量は32億1,670万個であり、そのうち中国産家きん卵が金額で76.3%（18億3,060万香港ドル）、数量で85.8%（27億6,000万個）を占めている。日本産鶏卵の香港への輸入は2024年には金額・数量ともに上位2位で、そのシェアは金額で17%（4億780万香港ドル）、数量で9.9%（3億1,840万個）を占めている（表1参照）。

香港では従来、以下表1のように中国産家きん卵の輸入が多く、2001年時には金額ベースで全体の約58.9%を占め、次いで米国産が同約24.7%を占めていた。中国産家きん卵は、産みたての鶏卵が毎日市場に運ばれるため鮮度が高く（ただし日本とは異なり生食用ではない）、主に「街市」と呼ばれる公設市場<sup>2)</sup>を中心に流通している。また、一部の高級鶏卵を除き冷蔵コンテナによる海運輸送されて香港に輸入され、長期保存が可能な米国産鶏卵は主にスーパーマーケットで冷蔵品として流通してきた。ちなみに、米国産鶏卵が長期保存できるのは、鶏卵の表面を保護するクチクラ層が洗浄によって除去されるため、4度以下の冷蔵冷蔵庫で管理された環境下では、サルモネラ菌などの細菌の侵入を防いで冷蔵保存が可能となるからである。

香港では2001年から2024年間の鶏卵の輸入額・量共に拡大している。具体的には、2001年に香港に輸入された殻付き家きん卵の輸入額が16億6,040万香港ドルであったのに対し2024年には同23億9,800万香港ドル、すなわち約1.4倍に増加し、2001年に香港に輸入された殻付き家きん卵が5億5,860万個であったのに対し2024年には32億1,670万個、すなわち数量ベースでは約5.8倍に増加している（出所：香港統計局）。

---

1URL：[https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e\\_info/attach/pdf/zisseki-271.pdf](https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_info/attach/pdf/zisseki-271.pdf)

2URL：[https://www.fehd.gov.hk/english/pleasant\\_environment/tidy\\_market/tidy\\_public\\_markets.html](https://www.fehd.gov.hk/english/pleasant_environment/tidy_market/tidy_public_markets.html)

表 1：香港における殻付き家きん卵の輸入推移（2001 年-2024 年）

（単位：百万個、百万香港ドル）

2001			2014			2019			2024		
輸入先	数量	金額	輸入先	数量	金額	輸入先	数量	金額	輸入先	数量	金額
中国	317.4	977.1	中国	1216.5	787.4	中国	1439.4	812.0	中国	2760.0	1830.6
米国	137.0	409.8	米国	531.5	373.3	米国	642.0	332.8	日本	318.4	407.8
ドイツ	67.0	175.2	タイ	238.1	189.4	タイ	252.9	189.2	タイ	49.4	61.4
タイ	14.7	45.1	マレーシア	152.8	113.2	日本	119.8	148.4	韓国	21.9	25.8
オランダ	9.0	27.1	日本	22.5	33.7	マレーシア	181.3	112.4	米国	19.6	17.2
ベトナム	8.4	11.6	ウクライナ	43.8	29.9	ウクライナ	163.7	83.1	オーストラリア	11.4	13.9
日本	2.0	7.0	ニュージーランド	4.4	16.2	ポーランド	34.3	20.6	シンガポール	9.9	12.0
その他	3.1	7.6	その他	62.3	62.6	その他	62.1	72.9	その他	24.8	29.2
合計	558.6	1660.4	合計	2283.0	1605.7	合計	2895.4	1771.4	合計	3216.7	2398.0

STIC 02510 - BIRDS' EGGS, IN SHELL, FRESH, PRESERVED OR COOKED

出所：香港統計局「Hong Kong External Merchandise Trade」  
（2025年5月現在）

日本産鶏卵は、従来は日本料理店での取り扱いがほとんどで、すき焼きや鍋物、カツ煮など、生卵や半熟卵が必要な場合に扱われることが多かった。2010年には当地でとんこつラーメンが流行したが、為替の影響もあり高価な日本産鶏卵よりも安価なタイ産やマレーシア産鶏卵が煮卵として用いられることが多かった。日本から香港への家きん卵の輸入量は、2001年に約200万個であったのが、2014年にはその約10倍の2,250万個、2019年には1億1,980万個と順調に増加した。今日のように日本産鶏卵が香港内に拡大していったのは2020年頃からである。そして2024年には3億1,840万個と2001年と比較すると約160倍に増加している。

この背景には、鳥インフルエンザによる他国産鶏卵の不安定な供給や、昨今の為替の影響に加え、20フィート或いは40フィートコンテナでまとめて運ぶことで物流コストを下げるなど、物流方法を改善させることでコストを下げ、変動価格ではなく一定期間に固定価格で契約するといった工夫を重ねたことで、日本産鶏卵が他国産鶏卵と比較し相対的に手に入りやすい価格帯で安定的に推移したこと、そのため日本産殻付き鶏卵が日本料理店や日系スーパーマーケットだけでなく、ローカルの飲食店やベーカリー、地場系スーパーマーケット、食品専門店へと裾野が広がった経緯がある。

具体的な価格に関しては、ジェットロが2024年11月～2025年2月にかけて行なった現地市場価格調査「香港における鶏卵の小売販売価格（2024年）」（表2参照）にあるように、高価格帯の兵庫県産鶏卵「夢王」10個入/パックが52香港ドル（約1,040円）、山形県産鶏卵「いではのもみじ」10個入/パックが54香港ドル（約1,080円）である一方、オーストラリア産フリーレンジ有機鶏卵「Sunny Queen」300g（6個入）/パックが70香港ドル（約1,400円）である。また、日本産鶏卵「新紀元卵」10個入/パックが30香港ドル

(約 600 円)、香川県産鶏卵「お月見たまご」10 個入/パックが 32 香港ドル (約 640 円) である一方、韓国産「Egg Family 赤玉」10 個入/パックが 34 香港ドル (約 680 円) である。

なお、その他の外国産鶏卵に関しては、街市で流通するマレーシア産鶏卵は白玉鶏卵は 6 個で 10 香港ドル (約 200 円)、同フリーレンジ鶏卵は 6 個入で 11 香港ドル (約 220 円)、スーパーマーケットで流通する中国・湖北産鶏卵 (ピンク玉・30 個入) は 35 香港ドル (約 700 円) であった。



<写真: 街市で流通する他産家産卵 (筆者撮影) >

表 2 : 香港における鶏卵の小売販売価格(2024/2025 年)

品目名・商品名	販売単位	販売価格 (現地通貨)	原産国・産地	販売店の種別	販売店のターゲット
生鮮たまご	30個/パック	32.00	中国	現地系	低所得者層
生鮮たまご 湖北産	30個/パック	35.00	中国	現地系	低所得者層
鶏卵	6個	10.00	マレーシア	現地系	該当なし
フリーレンジ鶏卵	6個	11.00	マレーシア	現地系	該当なし
Egg Family 赤玉 ホルモン剤不使用	10個/パック	34.00	韓国	現地系	ローワーミドル
新紀元卵	10個/パック	30.00	日本	現地系	ローワーミドル
お月見たまご	10個/パック	32.00	日本 (香川)	日系	アッパーミドル
玉子の家 極濃たまご	10個/パック	38.00	日本	現地系	ローワーミドル
夢玉	10個/パック	52.00	日本 (兵庫県)	日系	ローワーミドル
いではのみみじ	10個/パック	54.00	日本 (山形)	現地系	富裕層
日興鶏卵 京丹波産 金鶏の赤彩卵	10個/パック	58.00	日本 (京都府)	現地系	富裕層
仁光園 ひらかい 鶏卵 米寿の卵 白玉	6個/パック	31.90	日本	現地系	富裕層
秋川牧園 フリーレンジ鶏卵	6個/パック	50.00	日本	現地系	富裕層
Sunny Queen フリーレンジ鶏卵	350g	40.00	オーストラリア	現地系	ローワーミドル
Sunny Queen フリーレンジ鶏卵 (有機)	300g	70.00	オーストラリア	現地系	ローワーミドル
Chino Valley フリーレンジの液卵 (卵白)	454g	71.00	米国	現地系	富裕層

2025 年 5 月ジェトロ香港調べ

なお、業務用の価格に関しては、香港内日本料理店や日本式カフェのオーナーや料理長からのヒアリングによると、業務用の日本産鶏卵の価格は小売用とは違い、業務用タイ産鶏卵と比較しても大きな差が感じられにくく、そのために食味の良い日本産鶏卵を選択している、との声がある。

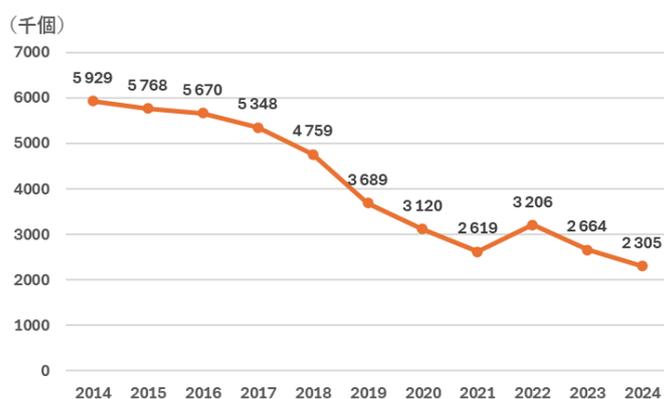
また、香港政府・食物環境衛生署<sup>3</sup>が第1回（2005-07年）、第2回（2018-20年）と2回にわたって実施した調査「全港性食物消費量調査（第二回香港食物消費量調査）<sup>4</sup>」によると、第一回目の調査の際には一人あたり一日15.18g摂取されていた鶏卵が、第二回目の調査では26.44gとなる等、その摂取量は1.7倍増加している。日本産鶏卵を輸入する輸入商社によると、栄養価に優れた食材として鶏卵が注目され消費者に支持されている点も影響しているとのことである。



<写真： Wellcome<sup>5</sup>スーパーマーケットで流通する日本産鶏卵（筆者撮影）>

香港では一部地域（新界・元朗地区等）で養鶏が行われている<sup>6</sup>が、その数量は年々減少傾向で、2024年時点では生産量が230万個と輸入量の1%にも満たない生産規模で、香港内で生産される家きん卵では自給をカバーできず、そのほとんどは海外から輸入されている。

表3：香港における鶏卵の生産推移



出所：漁農自然護理署<sup>7</sup>「Estimated local production of foodstuffs」

3URL：<https://www.fehd.gov.hk/english/>

4URL：[https://www.cfs.gov.hk/tc\\_chi/programme/programme\\_firm/files/2nd\\_FCS\\_Report\\_29\\_Jun\\_2021.pdf](https://www.cfs.gov.hk/tc_chi/programme/programme_firm/files/2nd_FCS_Report_29_Jun_2021.pdf)

5URL：<https://www.wellcome.com.hk>

6URL：<https://www.localfreshhk.com/products/r-e-n-eggs-tin-hong-chicken-eggs-6-pcsbox>

7URL：[https://www.censtatd.gov.hk/en/web\\_table.html?id=990-92071](https://www.censtatd.gov.hk/en/web_table.html?id=990-92071)

また、香港に輸入される殻付き家きん卵の内訳としては、ほとんどが鶏卵であり、以下表4のように金額ベースでは99.5%、数量ベースでは99.7%を占める。その一方で、主に中華料理に使用されるピータン（皮蛋）や塩漬け卵（鹹蛋）としてアヒルの卵が流通し、ウズラの卵は中国産を中心に流通している。

表4：香港における家きん卵の輸入状況（2024年）

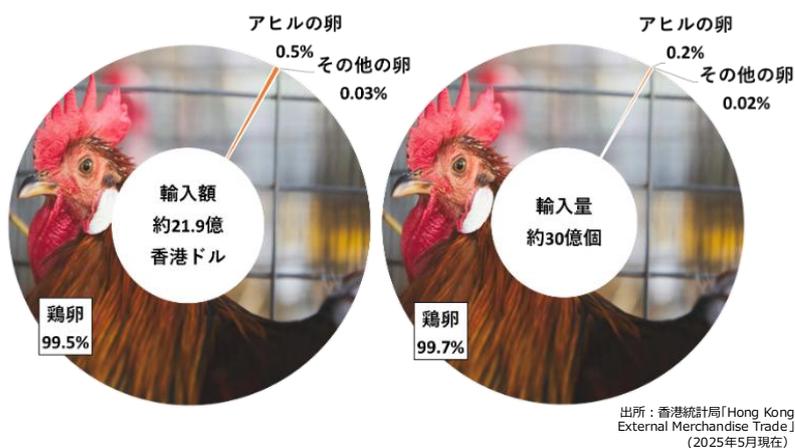


表5：香港におけるアヒル卵の輸入推移

(単位：百万個、1,000香港ドル)

	2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		前年比		構成比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
中国	7	7,908	13	16,581	2	2,222	13	18,916	7	11,085	-40.7%	-41.4%	100.0%	100.0%
全体	7	7,908	13	16,581	2	2,222	13	18,916	7	11,085	-40.7%	-41.4%	100.0%	100.0%

04072910 - DUCKS' EGGS, IN SHELL, FRESH

出所：香港統計局「Hong Kong External Merchandise Trade」  
(2025年5月現在)

表6：香港におけるうずら卵を含むその他の鳥類卵の輸入推移

(単位：千個、1,000香港ドル)

	2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		前年比		構成比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
日本	36	23	0	0	0	0	540	457	598	377	10.7%	-17.5%	86.0%	62.4%
中国	100	1,163	93	1,224	83	1,177	109	575	97	227	-11.0%	-60.5%	14.0%	37.6%
全体	136	1,186	93	1,224	114	1,198	649	1,032	695	604	7.1%	-41.5%	100.0%	100.0%

04072990 - OTHER BIRDS' EGGS, IN SHELL, FRESH

出所：香港統計局「Hong Kong External Merchandise Trade」  
(2025年5月現在)

## ◆2. 輸入状況と近年の動向◆

2020年から2024年の5年間の香港における鶏卵の輸入推移を見てみると、鶏卵の輸入額・量共に増加傾向にあることが分かる（表7参照）。2024年の鶏卵の輸入をみると、全体の金額は前年比0.5%減の21億7,870万ドル、数量は同2.3%増の30億6,700万個

であった。主要輸入相手国の動向をみると、上位 3 カ国の輸入額合計は全体の 95.6%を占め、数量では同 97.1%と大きなシェアを占めている。

日本からの輸入額は、2023 年に鳥インフルエンザの影響を受けて減少したものの、2022 年以降、中国に次いで第 2 位である。2024 年の日本から香港への輸入額は前年比 7.9%減の 4 億 725 万ドル、数量は同 13.2%増の 3 億 1800 万個であった。なお、再輸出に関してはマカオ向けがあるのみで、日本産鶏卵はほぼ香港内で消費されている。

表 7：香港における殻付き鶏卵の輸入推移

(単位：百万個、1,000香港ドル)

	2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		前年比		構成比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額								
中国	1,368	649,674	1,235	631,929	1,726	1,157,817	2,451	1,462,049	2,611	1,613,689	6.5%	10.4%	85.1%	74.1%
<b>日本</b>	<b>270</b>	<b>310,323</b>	<b>286</b>	<b>376,267</b>	<b>413</b>	<b>526,893</b>	<b>281</b>	<b>442,094</b>	<b>318</b>	<b>407,257</b>	<b>13.2%</b>	<b>-7.9%</b>	<b>10.4%</b>	<b>18.7%</b>
タイ	110	104,928	143	129,906	97	106,691	68	87,272	49	60,506	-27.3%	-30.7%	1.6%	2.8%
韓国	11	14,115	1	1,061	5	5,511	31	37,826	22	25,834	-30.4%	-31.7%	0.7%	1.2%
米国	565	287,344	649	367,870	229	187,283	84	65,020	20	17,242	-76.7%	-73.5%	0.6%	0.8%
オーストラリア	3	9,458	3	9,370	6	12,029	19	22,138	11	13,884	-39.8%	-37.3%	0.4%	0.6%
シンガポール	13	14,123	12	13,583	11	12,500	13	16,207	10	11,956	-22.5%	-26.2%	0.3%	0.5%
ベトナム	8	5,832	33	22,163	15	11,450	22	17,297	11	7,229	-48.0%	-58.2%	0.4%	0.3%
マレーシア	273	147,524	392	231,477	72	55,423	10	11,292	6	6,514	-41.7%	-42.3%	0.2%	0.3%
ニュージーランド	5	15,551	4	12,600	3	11,086	3	10,090	1	4,648	-65.1%	-53.9%	0.0%	0.2%
<b>全体</b>	<b>2,765</b>	<b>1,647,039</b>	<b>2,798</b>	<b>1,831,313</b>	<b>2,609</b>	<b>2,116,967</b>	<b>2,997</b>	<b>2,188,746</b>	<b>3,067</b>	<b>2,178,709</b>	<b>2.3%</b>	<b>-0.5%</b>	<b>100.00%</b>	<b>100.00%</b>

04072100 - EGGS OF FOWLS OF THE SPECIES GALLUS DOMESTICUS, IN SHELL, FRESH

出所：香港統計局「Hong Kong External Merchandise Trade」  
(2025年5月現在)

### ◆3. 液卵に関して◆

殻付き鶏卵は、家庭での消費とともに飲食店での利用も多い。香港における一部の飲食店では、人件費抑制のために厨房への機械導入が進んでおり、その一環として業務用液卵のニーズは一定程度あると思われる。実際に、2024 年の場合、鳥類液卵の輸入額（8,429 万香港ドル）は殻付き鶏卵の 3.9%（21 億 7,870 万香港ドル）であるが、だからと言って市場が全くないわけではなく、主にベーカリーなど食品製造業からのニーズがある。

他方、日本産液卵に関しては、業務用日本産鶏卵を取り扱う卸売業者によると、香港における日本産食品を取り扱う飲食店では総じて液卵よりも殻付き鶏卵を好むケースが多いと聞く。「冷凍液卵よりも鮮度のある鶏卵を好む」、「比較的高価である液卵よりも安価な鶏卵を好む」、「様々な品種の鶏卵で作られた液卵よりも好みの品質である鶏卵を好む」「店舗の冷凍設備に限りがあるため液卵の保管に困る」といった理由による。そのため、日本産鶏卵の場合、10kg/箱単位での殻付き卵の注文を受ける場合がほとんどであり、液卵の注文は比較すると少ないのが現状であるとのことだ。また、上記の卸売業者に

よると、日本産液卵の価格が香港に流通している液卵の価格と比較してかけ離れていなければ普及する可能性はある、とのことである。

香港では、香港で生産される液卵はまだ少数で、そのほとんどが海外から輸入している状況である。直近の輸入量や輸入額の推移を見ると、鳥インフルエンザの影響があった2022年後半から2023年を除き、液卵の輸入額・量共に増加傾向にあることが分かる（表8参照）。2024年には、液卵の輸入全体の金額は前年比74.9%増の8,430万香港ドル、数量は同78.5%増の3,401トンであった。主要輸入相手国の動向をみると、上位5カ国の輸入額合計は全体の95.6%を占め、数量では同96.6%と大きなシェアを占めている。

表8：香港における鳥類液卵の輸入推移

(単位：トン、1,000香港ドル)

	2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		前年比		構成比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額								
中国	223	4,664	265	7,113	316	7,911	730	16,130	2,040	44,520	179.3%	176.0%	60.0%	52.8%
日本	193	6,449	230	7,575	349	11,068	329	10,404	419	14,020	27.1%	34.8%	12.3%	16.6%
オーストラリア	76	1,636	45	924	308	6,490	348	8,229	449	12,697	29.0%	54.3%	13.2%	15.1%
マレーシア	261	6,365	284	6,950	311	8,230	264	6,803	198	5,153	-25.1%	-24.3%	5.8%	6.1%
デンマーク	76	1,252	177	3,214	150	3,305	132	3,629	180	4,180	36.8%	15.2%	5.3%	5.0%
ベルギー	98	2,397	142	3,408	80	2,367	6	167	49	1,379	717.2%	725.7%	1.4%	1.6%
イタリア	14	793	33	1,833	26	935	16	626	39	1,364	144.2%	117.9%	1.2%	1.6%
フランス	29	771	52	1,403	31	916	21	573	11	536	-47.6%	-6.5%	0.3%	0.6%
ラトビア	0	0	0	0	0	0	7	186	8	197	6.5%	5.9%	0.2%	0.2%
タイ	9	133	12	180	8	153	8	168	6	113	-24.1%	-32.7%	0.2%	0.1%
全体	1,954	41,770	2,401	54,872	2,151	52,525	1,906	48,210	3,401	84,298	78.5%	74.9%	100.0%	100.0%

04089900 - BIRDS' EGGS, NOT IN SHELL, FRESH, COOKED BY STEAMING OR BY BOILING IN WATER, MOULDED, FROZEN OR OTHERWISE PRESERVED EXCEPT DRIED, WHETHER OR NOT SWEETENED

出所：香港統計局「Hong Kong External Merchandise Trade」  
(2025年5月現在)

表9：香港における液卵を含む卵黄の輸入推移

(単位：トン、1,000香港ドル)

	2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		前年比		構成比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額								
中国	112	9,760	287	32,248	248	27,048	281	31,931	365	39,668	29.8%	24.2%	51.7%	75.0%
日本	178	6,286	198	6,789	208	6,798	180	6,673	251	9,321	39.7%	39.7%	35.6%	17.6%
イタリア	0	0	0	0	2	75	18	760	41	1,644	125.9%	116.3%	5.8%	3.1%
ベルギー	46	1,791	53	2,128	24	1,031	5	170	20	935	350.5%	450.0%	2.9%	1.8%
フランス	0	0	0	0	1	31	0	0	18	768	N/A	N/A	2.5%	1.5%
デンマーク	6	207	19	832	6	222	1	58	11	544	1415.8%	837.9%	1.6%	1.0%
ドイツ	0	0	0	0	0	0	9	481	0	0	-100.0%	-100.0%	0.0%	0.0%
米国	107	2,138	104	2,232	14	331	3	221	0	0	-100.0%	-100.0%	0.0%	0.0%
カナダ	13	322	40	1,053	25	750	0	0	0	0	N/A	N/A	0.0%	0.0%
オランダ	0	0	0	0	6	245	0	0	0	0	N/A	N/A	0.0%	0.0%
全体	462	20,504	702	45,307	533	36,531	497	40,294	707	52,880	42.2%	31.2%	100.0%	100.0%

04081900 - EGG YOLKS, FRESH, COOKED BY STEAMING OR BY BOILING IN WATER, MOULDED, FROZEN OR OTHERWISE PRESERVED EXCEPT DRIED, WHETHER OR NOT SWEETENED

出所：香港統計局「Hong Kong External Merchandise Trade」(2025年5月現在)

一般社団法人日本養鶏協会は、香港及びマカオの鶏卵卸売業者や業界関係者を対象に2025年10月14日及び15日に液卵を使用した商品を訴求するためのワークショップを香港のタウンガス・クッキングセンター<sup>8</sup>で開催した。

使用された液卵は日本産凍結全卵及び凍結卵白で、濃厚なコクと旨味（うまみ）がある。

同イベントでは、初日にはプリンやロールケーキ等スイーツでの活用方法が披露され、2日目には親子丼などの和食の活用方法が披露された。参加した業界関係者からは「円安ではあるが、他国産と比較し価格帯がネックになるのでは」といった声も上がったが、「解凍しやすく簡単で便利。食味も卵の濃厚さを感じられる」「とてもおいしく、他国産の液卵と比較して差別化でき、優位性を感じる」といった感想が聞かれた。



<写真：日本養鶏協会主催の「液卵ワークショップ」の様子（筆者撮影）>

<sup>8</sup>URL : <https://www.towngascooking.com/en/>

#### ◆4. 鶏卵の賞味期限◆

香港では、生食を前提とした鶏卵には「生食用」とパッケージに印字され、それ以外は「加熱用」と印字されるなど、両者が区別して販売されている場合が多い。ただし、「生食用」及び「加熱用」のパッケージへの表示について、法的な規制（衛生上のルール）によって定められているというわけではない。

生食用とされている鶏卵は主に航空便で、加熱用とされている鶏卵は 20-40 フィートの冷蔵コンテナを用いた船便で、それぞれ日本から輸出されている。

日本国内での鶏卵の賞味期限は、生卵日を基準にして「21 日」に設定されており、生食用とされている鶏卵については、当地でもこれと同じ賞味期限が設定されている。他方、加熱用とされている鶏卵については、冷蔵コンテナによる温度管理は行われているが、小売から食卓に上るまでの流通を考慮して、60 日から 90 日の賞味期限が設定されることが多い。

香港では、「日本産鶏卵は安心安全で、生食でも食べられる」という認知が広がってきている。それでも、日本産鶏卵を扱う卸売企業のヒアリングによると、卵かけご飯のように生食として消費されるよりも、火を通した状態のほうが安心感が得られるので、香港市民はスクランブルエッグのような加熱調理した卵料理を食べることが多い、とのことであった。

#### ◆5. 注目すべき動向◆

輸出量が増えている香港市場に課題がない訳ではない。

業界関係者からのヒアリングによると、香港で「質の良い鶏卵」と言われる商材は、①色みに鮮度感があり、②卵黄や卵白に厚みがあり、③卵の香りの良いもの、とされている。それに加え、日本産鶏卵は前述のように「安心安全」とのイメージがあり、他国産に比べて卵白の厚みがよりしっかりしている点が評価されている。



<写真：スーパーマーケットおよび街市で流通する湖北鶏卵（筆者撮影）>

2025 年に行われた、日本養鶏協会によるイベントで日本産鶏卵を使用したメニューを考案したカフェのオーナーは「これまで食事メニューで使っていた鶏卵については、香りの良い湖北卵を仕入れていたが、日本産鶏卵の中にはそれよりも香りに優れた商品がある。」とフェア以降も日本産鶏卵を採用している。



<写真：日本産鶏卵使用のカフェ・ZIPZIP<sup>9</sup>及び The Old Book Store<sup>10</sup>の料理及び日本産鶏卵使用のメニュー（筆者撮影）>

その一方で、中国産「湖北卵」は他産地の鶏卵と比較し価格訴求力があるだけではなく、香りが良く、卵黄の色みが鮮やかで鮮度感を感じられ、食味も良いと言われている。ヒアリングを行った中華料理店やカフェ等飲食店では特にこうした声がほとんどであった。

また、香港の業界関係者や消費者の間では、欧米の考え方の浸透度も早く、家畜にとってストレスや苦痛が少ない飼育環境を目指す「アニマルウェルフェア」を重視する考え方も拡大している。ケージフリー（放し飼い）あるいは、フリーレンジ（平飼い）の鶏卵を扱うホテルや会員制クラブが増加しているが、最近では、高級スーパーマーケットのみならず地場系スーパーマーケットでも「アニマルウェルフェア」を遵守した鶏卵に対するニーズが見られる。現状、アニマルウェルフェアを謳う商品はごくわずかだが、オーストラリア産やニュージーランド産の「平飼い鶏卵」が付加価値の高い商品として流通している。ちなみに、安価な商材の印象がある中国本土産鶏卵の中にも平飼い鶏卵は存在し、香港内では主にホテルや会員制クラブなどの業務用として流通している。



<写真：香港内スーパーマーケットで流通する他国産鶏卵(筆者撮影)>

<sup>9</sup>URL : <https://www.openrice.com/zh/hongkong/r-zipzip-銅鑼灣-多國菜-all-day-breakfast-r784553>

<sup>10</sup>URL : <https://www.openrice.com/zh/hongkong/r-the-old-book-store-by-the-so-lonely-club-銅鑼灣-多國菜-r798415>



<写真：香港内スーパーマーケットで流通する日本産平飼い鶏卵(筆者撮影)>

## ◆6. 流通経路◆

香港における鶏卵は、卸売市場を経由する場合と、生産者から食品輸入業者を通じて直接輸入される場合がある。中国産家きん卵は前者のルートで、「街市」と呼ばれる公設市場や飲食店を通じて流通している。中国産家きん卵は加熱されることを前提に販売されているものの、生みたての鮮度が高いものが流通している。

その一方で、日本産鶏卵は後者のルートで流通している場合がほとんどであり、卸売業者からのヒアリングによると飲食店向けの卸売販売も行っているが、スーパーマーケットのような小売用がほとんどであるとのことだ。

なお、香港では、生食用ではないものの公設市場で販売される鶏卵は産みたての鮮度の高いもの、スーパーマーケットで販売される鶏卵は比較的日持ちのするものと認識され、この棲み分けは現在も残っている。

## ◆7. 規制とルール◆

### 1 施設登録、輸出事業者登録、輸出に必要な書類等（輸出者側で必要な手続き）

#### （1）施設登録

香港向け殻付き鶏卵及び卵製品の輸出は、「対香港輸出卵等取扱施設」として登録された施設の製品のみ輸出が認められている。「対香港輸出卵等取扱施設」に登録するには、生産施設のある都道府県に申請手続き等を行う必要がある<sup>11</sup>。

現在、香港向け輸出卵等取扱施設として登録されている 250 以上の施設の全てが、GP センター（Grading and Packing Center、鶏卵選別包装施設）となっている。GP センターは、卵の洗浄、乾燥、検査、計量してパック詰めを国内流通と同じように一貫して行い、日本の生産者から鶏卵を仕入れる香港の輸入業者まで送るための一助を担っている。

#### （2）衛生証明書

「輸入獵獲物、肉類、家きんおよび卵規則」（Cap.132AK Imported Game, Meat, Poultry And Eggs Regulations）の Regulation 4 において、日本から生鮮の鶏卵を輸出する際には、食品環境衛生局長が認めた発行機関（日本における農林水産省）が発行した衛生証明書の添

<sup>11</sup> 認定施設リスト URL : [https://www.maff.go.jp/j/shokusan/hq/i-4/attach/pdf/yusyutu\\_shinsei\\_asia-811.pdf](https://www.maff.go.jp/j/shokusan/hq/i-4/attach/pdf/yusyutu_shinsei_asia-811.pdf)  
URL : [https://www.maff.go.jp/j/shokusan/hq/i-4/attach/pdf/yusyutu\\_shinsei\\_asia-794.pdf](https://www.maff.go.jp/j/shokusan/hq/i-4/attach/pdf/yusyutu_shinsei_asia-794.pdf)

付が義務付けられている。日本の場合は、動物検疫所における輸出検査後に発行される輸出検疫証明書が当該書類として機能する。輸出業者が動物検疫所に輸出検査申請を行う際は、香港特別行政区政府が輸入者に対して発行する輸入許可の写しの提出が必要である<sup>12</sup>。

### (3) その他

温泉卵、半熟卵などの殻付き卵製品については、「卵」或いは「卵製品」いずれの証明内容で輸出が可能であるか、どちらに該当するかは香港特別行政区政府へ確認する必要がある。また、十分に加熱された一部の卵製品については加工品とみなされ、証明書の添付が不要となる場合がある。証明書の要否については事前に香港特別行政区政府に確認する必要がある。

### (4) 輸出に必要な手続きの詳細

関連リンクの農林水産省「香港向け輸出殻付き家きん卵および卵製品の取扱要綱」参照<sup>13</sup>

## 2. 輸入禁止（停止）、制限品目（放射性物質規制等）

東京電力福島第一原子力発電所事故の影響により、日本の 5 県（福島県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県）から輸出される家きん卵については、放射性物質検査を行い、香港の放射性物質の基準に適合していることを証明する政府機関発行の証明書を添付することが必要となる<sup>14</sup>（輸出事業者証明書の添付は求められていない）。

香港内でのサンプル検査に関しては、航空輸送の場合は香港国際空港内に検査所が併設されているため、数時間で検査が終了する。ただし、海上輸送の場合は水際で検査されるのではなく、輸入手続きを取った家きん卵を香港政府担当者が輸入業者の倉庫に訪れて行うため、検査完了までに 1 週間前後の時間を要する。

また、高病原性鳥インフルエンザの発生により、生産・処理された都道府県によって輸出停止中の場合がある<sup>15</sup>

## 3. 食品添加物規制

香港では着色料・甘味料・食品保存料に関する規則がある<sup>16</sup>。

着色料に関しては「食品着色料規則」(Cap.132H Colouring Matter in Food Regulations) Schedule 1 に挙げられている着色料を使用することができる。また、天然色素については、同規則には掲載されていないが一部は使用が認められている。その他の着色料に関しては「許可された着色料：天然色素<sup>17</sup>」を参照されたい。

12 家きんの畜産物の輸出 URL : <https://www.maff.go.jp/aqs/hou/exkakin3.html>

13 URL : [https://www.maff.go.jp/j/shokusan/hq/i-4/yusyutu\\_shinsei\\_asia.html](https://www.maff.go.jp/j/shokusan/hq/i-4/yusyutu_shinsei_asia.html)

14 URL : [https://www.maff.go.jp/j/export/e\\_shoumei/hk\\_shoumei.html](https://www.maff.go.jp/j/export/e_shoumei/hk_shoumei.html)

15 URL : [https://www.maff.go.jp/aqs/topix/exkakin\\_teishi.html](https://www.maff.go.jp/aqs/topix/exkakin_teishi.html)

16 URL : <https://www.jetro.go.jp/world/reports/2014/07001637.html>

17 URL : <https://www.elegislation.gov.hk/hk/cap132H> URL : <https://www.jetro.go.jp/world/asia/hk/law/>

甘味料に関しては「食品甘味料規則」(Cap.132U Sweeteners in Food Regulations) Schedule に挙げられている甘味料を使用することが可能である<sup>18</sup>。

食品保存料に関しては「食物中の保存料規則」(Cap.132BD Preservatives in Food Regulation) の Schedule 1, No.6 に挙げられている食品保存料を、規定量の範囲内で使用することができる<sup>19</sup>。

上記以外の食品添加物に関しては、その使用に特定の規則は定められていない。しかし、「公衆衛生および市政条例」第 V 部に従い、食品販売者は各自使用するものが安全で食用に適していることを確保しなければならない。

## ◆8. 参照◆

### 1. 日本産鶏卵を扱う主なプレーヤー

日本産鶏卵は、香港ではスーパーマーケットをはじめミニスーパーや公設市場内の専門店でも、オンラインでも販売されている。

日系や旧日系スーパーマーケットでは、日本産鶏卵が P5 にあるように多品種流通している。また、オーストラリア産や中国産をはじめアジア各国の鶏卵を販売する地場系スーパーマーケットでも日本産鶏卵の取り扱いがある。特に、AS Watosons Group<sup>20</sup>や DFI Group といった地場系スーパーマーケットでは、日本産鶏卵であることが明確な「Tamago Japan Egg」のロゴが付いた鶏卵をしばしば取り扱っている。



<写真: 「Tamago Japan Egg」のロゴが付いた日本産鶏卵 (筆者撮影) >

URL : [https://www.cfs.gov.hk/english/committee/files/Permitted\\_colouring\\_matter\\_Natural\\_colours.pdf](https://www.cfs.gov.hk/english/committee/files/Permitted_colouring_matter_Natural_colours.pdf)

18 URL : <https://www.elegislation.gov.hk/hk/cap132U> <https://www.jetro.go.jp/world/asia/hk/law/>

19 URL : <https://www.elegislation.gov.hk/hk/cap132BD> <https://www.jetro.go.jp/world/asia/hk/law/>

20URL : <https://www.aswatson.com>

主な小売店としては以下が挙げられる。

<日本産鶏卵を取り扱う小売店>

**AEON Style**

所在地：Units 07-11, 26/F, CDW Building, 388 Castle Peak Road, Tsuen Wan, New Territories, Hong Kong

Tel：852-2565-3600

URL：<http://www.aeonstores.com.hk/>

**Don Don Donki (PPIH)**

所在地：21/F, Mira Place Tower A, 132 Nathan Road, Tsim Sha Tsui, Kowloon, Hong Kong

Tel：852-3904-1481

URL：<https://www.dondondonki.com/hk/>

**APITA (Unicorn Stores)**

所在地：Cityplaza 2, 18 Taikoo Shing Road, Quarry Bay, Hong Kong

Tel：852- 2885-0331

URL：<https://apitauny.com.hk/?lang=ja>

**City' Super**

所在地：香港九龍觀塘巧明街 110 號興運工業大廈 2 字樓

Tel：852-3960-9300

URL：<https://online.citysuper.com.hk>

Facebook：[fb@ceccoils.com](https://www.facebook.com/fb@ceccoils.com)

**香港 SOGO**

所在地：555 Hennessy Road, Causeway Bay, Hong Kong

Tel：852-2833-8338

URL：<http://www.sogo.com.hk/>

**PARKn SHOP**

Tel: 852-2690-0948

E-mail：[parknshop.info@asw.com.hk](mailto:parknshop.info@asw.com.hk)

URL：<https://www.pns.hk/zh-hk/>

## **DFI Group**

所在地：11/F Devon House, Taikoo Place, 979 King's Road, Quarry Bay, Hong Kong

Tel：852-2299-1888

URL：<https://www.dairyfarmgroup.com/en-US/Home>

## **YATA**

所在地：Unit No. 901-910, 9/F., Tower 1 Grand Central Plaza, No.138 Shatin Rural committee Road, Shatin, NT, Hong Kong

Tel：852-2634-2070

URL：<http://www.yata.hk>

<日本産鶏卵を用いる洋菓子専門店>

### **A-1 ベーカリー**

所在地：Unit 1701-1706, 17/F, New Commerce Centre, 19 On Sum Street, Siu Lek Yuen, Shatin, N.T., Hong Kong

Tel：852-3143-8288

URL：[https://www.a-1bakery.com.hk/zh\\_HK/](https://www.a-1bakery.com.hk/zh_HK/)

### **東海堂（アロームベーカリー）**

所在地：香港九龍長沙灣長順街 17 號美心集團中心 18 樓

Tel：852-2739 1328

URL：<https://www.aromebakery.com.hk/tc>

### **イタリアントマト**

Tel：852-3765-1000

E-mail：[info@italiantomato.com.hk](mailto:info@italiantomato.com.hk)

URL：<https://italiantomato.com.hk/#/home>

### **シャトレーズ**

URL：[https://www.facebook.com/chateraise.hk/?locale=ja\\_JP](https://www.facebook.com/chateraise.hk/?locale=ja_JP)

IG：<https://www.instagram.com/chateraise.hongkong?fbclid=IwAR3GoLI9zLjKmrIwwUDasGQ53iJgenQPe1qpotq3R40SuuxxYabvnHPXH3g>

**モンシェール**

所在地：香港沙田小瀝源安平街 2 號利豐中心 14 樓

E-mail：customer@mon-cher.com.hk

URL：https://www.mon-cher.com.hk/hk/

**<日本産鶏卵を取り扱う食品輸入商社>**

**味珍味（香港）有限公司**

所在地：Flat B, 12/F, China Merchants Logistics Centre, 38 Tsing Yi Hong Wan Road,

Tsing Yi, Hong Kong

Tel：852-2495-1261

URL：[https://www.aji-no-chinmi.com.hk/zh\\_hk](https://www.aji-no-chinmi.com.hk/zh_hk)

**Four Seas Mercantile Holdings Limited（四洲集團）**

所在地：香港九龍灣宏泰道 23 號 Manhattan Place 21 樓

Tel：852-2219-5000

URL：<http://www.fourseasgroup.com.hk/us/>

**Go Go Foods Co. Ltd.**

所在地：Unit 1214, 12/F, Chai Wan Industrial City, No. 60 Wing Tai Road, Chai Wan,

Hong Kong

Tel：852- 2515-3300

URL：<http://www.gogofoods.com.hk>

**京都日本食品有限公司**

所在地：香港新界 葵涌 打磚坪街 49-53 號，華基工業大廈 1 期 4 樓 A 室

Tel：852-3844-0000

URL：<https://www.kyoto-food.com>

**MRT Food (Hong Kong) Co., Ltd.**

所在地：Flat 10,14/F Honour Industrial Centre, 6 Sun Yip Street, Chai Wan, Hong

Kong

URL：<http://www.mrt-japan.jp/company.html>

**新利欄（サンリーラン）**

所在地：香港西環西區副食品市場 B44 舖

Tel：852-2549-3753

URL：<https://www.sunleefood.com.hk>

## 映傲集團有限公司

所在地：Room E17, 1/F, Administration Block, Cheung Sha Wan Wholesale Food Market, KLN, Hong Kong

### 2. 輸入手続き

#### 1. 施設登録、輸出事業者登録、輸出に必要な書類等（輸出者側で必要な手続き）

香港向け殻付き鶏卵および卵製品については、「対香港輸出卵取扱施設」として登録された施設の製品のみ輸出が認められている。「対香港輸出卵取扱施設」に登録するには、生産施設のある都道府県に申請手続きなどを行う必要がある。

（認定施設リスト：[アジア | 証明書や施設認定の申請：農林水産省 \(maff.go.jp\)](#)）

また、「輸入猟獲物、肉類、家きんおよび卵規則」（Cap.132AK Imported Game, Meat, Poultry And Eggs Regulations）の Regulation 4 において、日本から鶏卵を輸出する際には、食品環境衛生局長が認めた発行機関（鶏卵であれば農林水産省）による衛生証明書の添付が義務付けられている。日本では、輸出検疫後に発行される「輸出検疫証明書」および「追加輸出証明書」が当該書類として機能している。輸出者が動物検疫所に輸出検査申請を行う際は、香港特別行政区政府が輸入者に対して発行する輸入許可の写しの提出が必要である。詳細に関しては動物検疫所のウェブサイト（[家きんの畜産物の輸出：動物検疫所 \(maff.go.jp\)](#)）を参照のこと。

殻付き卵製品（温泉卵、半熟卵など）に関しては、「卵」もしくは「卵製品」いずれの証明内容で輸出が可能であるかを輸出者が直接、或いは輸入業者を通じて香港特別行政区政府へ確認する必要がある。

なお、十分に加熱された卵製品については加工品とみなされ、証明書の添付が不要となる場合がある。証明書の要否は輸出者が直接、或いは輸入業者を通じて香港特別行政区政府に確認する必要がある。

日本国内で行う必要のある手続きの詳細については、関連リンクの農林水産省「香港向け輸出殻付き家きん卵および卵製品の取扱要綱」を確認すること。

（[アジア | 証明書や施設認定の申請：農林水産省 \(maff.go.jp\)](#)）

#### 2. その他の関連リンク

##### 関係省庁

[香港食品安全センター（CFS）（英語）](#)

[香港食物環境衛生署（FEHD）（英語）](#)

##### 根拠法等

[香港特別行政区基本法「輸入猟獲物、肉類、家きんおよび卵規則」（Cap.132AK Imported Game, Meat, Poultry And Eggs Regulations）（英語）](#) / [（ジェトロ仮訳）](#)

## その他参考情報

[農林水産省「農林水産物等の輸出におけるよくある相談」](#)

[香港食品安全センター「日本産食品の輸入規制に関する最新情報」\(Latest update on Import Control on Japanese Food \(as at 2021\)\) \(英語\)](#)

[厚生労働省「香港向け殻付き家きん卵および卵製品の輸出手続に関する留意事項」](#)

[ジェトロ「鶏卵の輸入規制、輸入手続き\(香港\) | 日本からの輸出に関する制度 - 農林水産物・食品 - 香港」](#)

【免責条項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。輸出支援プラットフォームでは、できる限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、輸出支援プラットフォームおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

執筆：農林水産物・食品 輸出支援プラットフォーム 香港

本レポートに関する問い合わせ先：

農林水産物・食品 輸出支援プラットフォーム 香港

E-mail: Hkgevent@jetro.go.jp

TEL：852-2526-4067